

TT-28、30 着物着付け講座に持参していただく道具について

着物着付け講座では、下記の道具をご用意していただく必要があります。
講座の開講日に道具について説明を行います。

<<用意していただく道具>>

【着物の着付け】※講座2回目までに用意。

着物、長襦袢（衿芯）、ワンピース式肌襦袢（きものスリップなど）、裾よけ、紐（4本）、伊達締め（2本）、コーリンベルト、名古屋帯、帯板、帯枕、帯あげ、帯締め、補正タオル（3本）、足袋

【浴衣の着付け】※6月になってから準備で可。

浴衣、ワンピース式肌襦袢（きものスリップなど）、裾よけ、紐（3本）、伊達締め、コーリンベルト、半幅帯、帯板、補正タオル（2枚）



(道具を既に持っておられる方)

講座開講日に講師の先生が道具の確認を行いますので、ご持参ください。

(着物の着付けをこれから始める方など、道具を持っておられない方)

講座初日に講師の先生が道具の説明を行います。

初めての方は道具を揃える時点で悩まれると思いますので、講座開講日に説明を聞かれましたら道具を揃えていただければよいと思います。（講座2回目以降は道具を持参）

※道具を一部持っておられる場合は、講座1回目でそれをお持ちください。

(着物の貸し出し)

着物を持っていない場合、講師の先生から着物をお借りすることもできます。

ただし、数量、サイズに限りがありますので、ご希望に添えない場合はご了承ください。

※講座申し込み前にご相談ください。

貸し出しする着物は、講師の先生のご好意により提供していただいているものなので、丁寧な取り扱いをお願いします。

着物の着付けに関することは、講座開講日に質問していただけます。

事前に確認が必要なことについては、以下の連絡先までお問い合わせください。